

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2007・10



まちの
人

琴似屯田子孫会会長

NPO法人札幌郷土文化推進センター専務理事

こいずみ たけよし
小泉 武義さん(78)



琴似屯田子孫会は、琴似一帯に入植した屯田兵の子孫が「先人の苦勞をしのび、開拓精神を未永く継承していく」ことなどを目的に、昭和49年に設立した団体です。

NPO法人札幌郷土文化推進センターは「琴似屯田歴史館建設期成会」を前身として平成12年に法人化され、琴似の歴史を後世に伝える歴史館の建設を目指しています。



■8月の「琴似屯田ふれあい祭り」で屯田兵の制服に身を包んだ山の手高校の生徒らと行進する小泉さん(右側)。

昨年、琴似屯田子孫会の会長を務めている山の手在住の小泉さんは、琴似屯田兵の四世代目になります。明治八年に琴似を皮切りに入植した屯田兵は、北方警備などの兵役の一方で、琴似地区周辺の開墾に尽力し、今日の西区の礎を築いたといえます。小泉さんは、これら先人の功績を後世に継承するため、開拓当時の貴重な資料や生活用品などを保存・展示する歴史館の建設を目指すNPO法人の専務理事としても忙しい日々を過ごしています。「かつて琴似神社の境内にあり、昭和二十五年に不審火で焼失した琴

琴似屯田兵ゆかりの西南戦争の地へ

似屯田資料館を再建したい」と熱く語る小泉さんは、昨年、西区役所横の屯田の森で開催している「琴似屯田ふれあい祭り」や歴史講演会などの地域活動を通して、歴史館の建設を目指しています。

また、琴似屯田子孫会では、琴似屯田兵が出征した西南戦争(一八七七年)から百三周年を記念して「西南戦争ゆかりの地巡り」と題した研修旅行を企画し、十月十六日から熊本県人吉市などを訪れます。「多くの戦死、戦病死者を出した田原坂などの戦跡を巡り、祖先の苦難をしのびたい」と小泉さんは話します。

屯田兵の本陣があったとされる聖泉院では、戦没者の法要も予定しているそうです。「この研修旅行を通して地域の歴史を再認識するとともに、屯田兵の精神を今後のまちづくりに生かしたい」と意気込みを語ってくれました。

同会では、高齢化などにより会員数が減少しているとのこと。「この地域を開拓した屯田兵の子孫として、これからも交流を続けていきたいので、次代を担う五世代目の方も積極的に参加してほしい」と呼び掛けています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望や意見を寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。